学校番号	３２７

令和８年度　芸術科（国際文化科）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術Ⅱ　（日文）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン・工芸」、作品の意図、表現の工夫や効果を考える「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
制作活動を通じて準備、段取り、状況判断などの大切さを学び、それらの活動が普段の生活にも生かせるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に制作活動に取り組み、日常生活をより良いものにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な知識・技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	線織面	【デザイン】 ・直線のみを利用し、曲線や曲面で構成された作品作りを行う。	a:一本一本の直線を描くことへのこだわりと丁寧な作業。 b:新たな模様の発見と、配置の工夫ができているか。 c:作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	丁寧な作業と道具の適切な利用。	試行段階での取り組みとデザインの発見。	制作の様子。
2学期	堆朱	【立体制作】 ・塊から作品を削り出す作業を行い、立体感を養う。また仕上げまでの工程を理解する。	a:工具を適切に使い、効率的な制作工程を行う。また、丁寧な作業を心掛けるようにしているかを判断する。 b:イニシャルをモチーフにして、デザイン性が高いものに変換・昇華できているか。 c:　作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	やすりなどの工具の適切な利用ができているか	モチーフを適切に判断する能力とデザイン力。	制作の様子。
3学期	ランプシェード	【立体制作】 ・日常的に使用するものや道具の制作を通じて、普段の生活をよりよくするために必要な美的センスを養う。	a:　必要なパーツの洗い出しを行い、無駄なく材料を使うことができるか。 b:　多角的に作品の形を把握し、ランプシェードの機能を保ちながらも美しい造形物を作ることができるか。 c:　作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	のこぎりややすりなど工具を適切に使い丁寧な作業を行っているか。また各パーツを適切に無駄なく切り出す作業ができているか。	連続する模様や、光の特性を理解して作品作りができているか。	制作の様子。

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度